

筑西市消防団出初式

快晴の1月8日、新市が誕生して初めての出初式を開催しました。当日は、消防団本部と43の分団から消防団員660人が参加。式典会場の市役所駐車場で人員服装点検や機械器具点検、消防功績者表彰などを行った後、消防ポンプ車パレード、勤行緑地公園での放水訓練を実施しました。

消防庁長官表彰

●永年勤続功労章 野澤信明（下高田） 鶴見貞夫（田中町）

日本消防協会会長表彰

●功績章 大畑亀久夫（松原）
●精進章 齊藤幸男（西石田） 山口悦郎（築地） 渡辺隆（古内）
●勤続章 宮城榮（古内） 池羽節夫（女方） 齊藤幸男（西石田） 大津隆一（旭町） 柴保（国府田）

茨城県知事定例表彰

●永年勤続功労章（40年以上） 飯泉信（小林） 箱守勝（関館） 鶴見貞夫（田中町）
●永年勤続功労章（30年以上） 鈴木健一（村田） 野寺友行（口戸） 大畑亀久夫（松原） 稲葉義雄（赤浜） 中島義夫（本城町） 篠崎耕造（海老ケ島） 廣瀬和夫（本城町）
●永年勤続功労章（20年以上） 嶋田昌弘（桑山） 高橋正和（樋口） 柳田嘉一（桑山） 竹川元（新治） 松井明（樋口） 坪松弘之（海老ケ島） 細谷忠勝（門井） 仙波善典（門井）

茨城県消防協会会長表彰

●優良分団 第8分団 第9分団
●永年勤続功労章 鈴木健一（村田） 野寺友行（口戸） 大畑亀久夫（松原） 稲葉義雄（赤浜） 中島義夫（本城町） 篠崎耕造（海老ケ島） 廣瀬和夫（本城町）
●功労章 堀中誠（関本上） 館野好央（井出蛸沢） 鈴木政雄（栄町） 池澤輝夫（泉町） 上橋義之（中館） 安藤治（伊佐山） 加藤誠（下野殿） 阿久津実（茂田） 木下智也（小栗）
●親子消防団員表彰 宮城榮（古内） 宮城正弘（古内） 箱守勝（関館） 箱守由紀夫（関館）
●永年勤続者妻女 野寺操（口戸） 大畑佐代子（松原） 稲葉洋子（赤浜） 中島恵子（本城町） 篠崎久子（海老ケ島） 廣瀬快枝（本城町）

筑西市市長表彰

●一般消防協力者 杉山富雄（野殿） イタヤエナジー

株式会社 代表取締役 板谷邦夫（横島） 上石信一（野殿） 丹波寛（伊佐山） 齊藤優（黒子） 濱野優（八田） 内藤和仁（門井） 栗原博（新治） 栗原まち（新治） 塚田均（新治） 山中年三（門井） 羽野島弘（桜川市） 深谷富代（新治） 須鎌まゆみ（新治）

●永年勤続団員（10年） 堀中誠（関本上） 田宮明德（旭町） 須藤昌彦（本城町） 村上雅和（市野辺） 木下尋晶（笹塚） 篠崎則夫（小林） 稲見耕造（蒔田） 新井善光（国府田） 関弘也（下高田） 鷺谷孔弘（下高田） 早瀬力（樋口） 早瀬光夫（樋口） 木村茂樹（子思儀） 中村正義（灰塚） 藤枝将教（樋口） 木村貞夫（下平塚） 平澤一（下川島） 中川一也（布川） 市村実（下野殿） 杉山充正（野殿） 杉山忍（西方） 増淵雅之（成田） 新井次郎（成田） 稲川長司（大塚） 島田敏（海老ケ島） 齋藤凡男（海老ケ島） 片平博（中上野） 鈴木康之（村田） 松崎隆一（村田） 島田正浩（宮後） 根本洋（宮後） 小島嘉門（宮後） 須鎌真司（新治） 小幡将豪（門井） 新井具博（井出蛸沢） 國松昭典（蓬田）

消防長表彰

●優良分団 第15分団 第16分団 第17分団

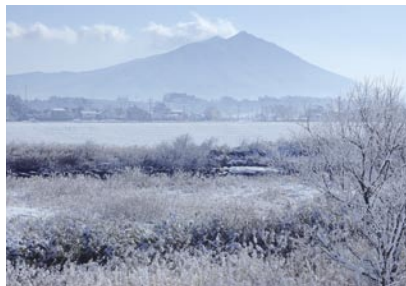
消防団長表彰

●優良団員 大津隆一（旭町） 鶴見貞夫（田中町） 鈴木政雄（栄町） 池澤輝夫（泉町） 中島義夫（本城町） 坂井頼男（市野辺） 飯泉孝（小林） 大吉悦夫（羽方） 柴保（国府田） 中西隆雄（樋口） 上橋義之（中館） 国田博（五所宮） 滝田守（笹塚） 安藤治（伊佐山） 菊池弘一（布川） 押坂裕司（西方） 加藤誠（下野殿） 齊藤和男（西石田） 新井康洋（東横生） 渡辺和美（下中山） 阿久津実（茂田） 小幡敬（関本上） 國府田貴裕（関本下） 岩瀬健一（上野） 箱守由紀夫（関館） 伊坂俊幸（藤ヶ谷） 淀縄文貴（黒子） 箱守幸夫（辻） 篠崎耕造（海老ケ島） 石島勝徳（中上野） 古橋裕明（鷺島） 渡辺隆（古内） 大吉良男（村田） 市村常雄（宮後） 嶋田昌弘（桑山） 鈴木勝雄（知行） 下条泰雄（下星谷） 藤田政夫（新治） 坪井梅夫（門井） 矢本信一（井出蛸沢） 佐藤勤（井出蛸沢） 稲川実（蓬田） 木下智也（小栗）

順不同・敬称略

編集後記

艶やかな着物、ピシッとしたスーツ、凛々しい羽織袴姿の新成人が、続々と式典会場に集まってくる。久しぶりの級友との再会に会話が弾み、天真爛漫、笑みが耐えない。和やかな光景である。カメラを握る手を休め、暫しの間、当時の自分に思いを馳せると、座右の銘が蘇った。「雨垂れ、石をも穿つ」という一言専心、これこそが物事を成就させる要諦である」（も）



厳しい寒さとなった今年の冬。1月21日朝から降り始めた雪により、市内は一面の銀世界に。

市消防団の出初式を取材しました。新市誕生にともなって旧4市町の消防団を再編、新たに発足した市消防団は、43の分団からなる大組織。当日は、市役所駐車場に各団の消防車がずらりと並び、制服姿の団員たちが規律正しく整列する前で式典が進行しました。市民の安全を守るために日夜精進する団員の皆さん、これからも体につけてがんばってください。（〇）